

とよささい

vol.24
2020.2



- 令和2年 年頭にあって
新年の御挨拶
- 新年を迎えて
着任医師のご紹介
- 防犯訓練を実施しました
- 部署紹介【放射線科】
- 元気スタッフのWA!
- 医療連携登録医のご紹介



「梅香る」

(第9回豊浦フォトコンテスト応募作品)

病院理念

- 一、「救療済生」の精神に基づき、人々に愛をもって接します。
- 一、患者様本位の良質な医療の提供を実践します。
- 一、地域の医療・保健・福祉の礎となるよう努力します。
- 一、医療を通じて、生き生きのびのびとした豊かなまちづくりに貢献します。



社会福祉法人 恩賜 財団 済生会支部

山口県済生会豊浦病院

〒759-6302

山口県下関市豊浦町大字小串10007番3

TEL 083-774-0511 FAX 083-774-2590

URL <http://www.toyoura-saiseikai.jp/>



令和2年 年頭にあたって

病院長 中司謙二



令和となって最初の新年、明けましておめでとうございます。今年は、子年。十二支の始まりであり、食物にととえると、種子が膨らみ始める時期であり、これからの繁栄の始まりを予感させる縁起の良い年です。

昨年4月、当院は、旧病院跡地に広い駐車場が完成し、無事新病院の落成式を終えました。当院を利用していただく外来患者さん、入院患者さん、そこで働く職員にとって、快適な環境が整いました。協力していただいた皆様方に厚く御礼申し上げます。当院は、今後も下関医療圏北西部の中核病院として、地域医療を担い、地域住民の健康と福祉に寄与していくことはもちろんのこと、出前講座やイベントへの参加等を通じて、地域のまちづくりに貢献していきたいと思っております。

昨年9月厚労省は、将来の医療体制の在り方を決める地域医療構想に関し、「再編・統合の議論を活性化するため」として全国で424病院の公立・公的病院の実名を公表し、山口県では30の公立・公的病院のうち14病院、全国82の済生会病院のうち21病院がリストに挙がりました。当院は、幸いそのリストに入りませんでした。今後も当院に求められるものは何かを考え、地域の医療ニーズにあわせて柔軟に対応していきたいと考えております。

現在当院のかかえる重要課題として、医師確保があります。山口県の医師不足は45才以下の医師の減少が全国ワーストで、その影響は当院にも押し寄せています。一人の医師の休職や退職は、診療科の休止を意味することもあります。今後医師の働き方改革の影響で、時間外労働が制限される可能性もあります。緊急を要する病気は別ですが、時間外の受診に関しまして、不要不急の受診は避けていただき、できるかぎり診療時間内に受診していただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和2年こそ、抜群の療養環境をもつ新病院の強みと職員の団結力を生かして、地域の皆様方に「とよさい」で診てもらってよかった、入院してよかったと思ってもらえる安全安心な医療を提供できる病院をめざして、心新たにがんばってまいります。皆様方の忌憚のないご意見をお待ちしております。

新年の御挨拶

特別顧問 上領頼啓



令和二年の元旦を迎え一言御挨拶を申し上げます。

今年の干支は子(ね)で動物に譬えて鼠としています。干支を鼠にしたのは子(ね)が増えると云う意味であり、子(こ)を沢山生む動物は鼠と云うことで鼠にしたと言われています。確かに鼠は鼠算、鼠講といって、際限なく数が増えて行く譬えで使われますが、少子高齢化が進む日本では鼠に肖り出生率の増加を期待するところです。

総務省の出した平成27年の国勢調査によりますと、我が国の人口は1億2709万4745人であり、総人口に占める15歳未満の人口は13.2%から12.6%に低下、65歳以上人口の割合は23.0%から26.6%に上昇し、15歳未満の人口の割合は調査開始以来最低、65歳以上の人口の割合は調査開始以来最高と報告しています。2025年には団塊の世代の800万人が75歳、つまり後期高齢者となり、75歳以上の人口が全人口の18%を占めることとなります。これに65歳～74歳の前期高齢者を含めると3人に1人が高齢者となる計算になります。一方19歳以下の全人口に占める割合は15%で、ピラミッド型であった日本の人口構成が逆ピラミッド型に変わりつつあります。

ところで、本邦の少子化には未婚率の増加、晩婚化、結婚≠育児、女性の就業率の増加、育児環境の不備、子育ての経済的負担、都市部への人口の集中による生活費の増、子弟の進学率の上昇による教育費の負担増、等が原因となっており、少子化による深刻な問題が現実となりつつあります。例えば若い就労人口の減少により、経済の発展の停滞を招き、現行の年金制度や社会保険制度の運用に支障を来したり、大学進学者数の減少で教育機関が淘汰され、後継者不足による企業の廃業、それによる失業率の増加が懸念されます。一方、医療知識や技術の進歩、健康意識の向上、人間ドックや集団検診の推進、喫煙やメタボリック症候群等の対策強化、等々で平均寿命は伸びて、今や人生100年時代と言われても違和感がない時代となって来ています。国民の高齢者の

増加それ自体は大変喜ばしいことですが。社会全体が高齢化となりますと少子化と同様日本の社会制度に深刻な問題が生じて来ます。高齢者の増加は年金受給者の増加となり、年金制度の崩壊の恐れを生じます。高齢者雇用安定法により65歳まで継続雇用が義務化されているため若い人にポストが空かず、若い人の就職難が生じて来ています。高齢者の雇用に関しては体力を要する業種は再雇用が難しく、IT関係の仕事は敬遠されるなど雇用条件も色々あって各企業は対策を強いられています。高齢者自身も第二の人生を慣れない仕事に困惑しながら送ることになります。他方で、高齢者は若年層に比べて当然罹病率が高く、受診料の公費負担が増え、2018年度の全医療費43兆円のうち16兆円が75歳以上の高齢者の医療費となっています。財務省は高齢者の窓口自己負担額を1割から2割に引き上げること検討していますが、年金生活の高齢者にとってはかなりの重荷となるため政府内で協議が続けられていると云うことです。

少子高齢化は政治・経済・教育・医療・文化芸術・スポーツとあらゆる分野で活動性を失い、日本の国力の衰微を惹起します。有史以来先人が辛酸を嘗め、労苦を厭わず脈々と築き上げた日本の国力を保つために少子高齢化対策と云う緊要なる課題に為政者は無二無三に取り組んで載きたいと思えます。

新年を迎えて



副院長・地域医療支援(PFM)センター長 岡田 理

新年あけましておめでとうございます。新病院となって2度目の正月を迎えることができ、日頃より当院を御利用頂きまして心より感謝申し上げます。

今年も医師過疎化の荒波の真っ直中で厳しい医療体制を覚悟せざるを得ない現状にあり、地域の皆様には御不便と御迷惑をおかけすることを心よりお詫び申し上げます。地域医療機能分化を最大限に充実させ、手の届きにくい所まで速やかに移動し、細やかな医療を提供できる子年となりますよう、皆様の納得できる医療提供ができますよう診療部・PFMのスタッフと共に微力ながら尽力する決意であります。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



看護部長 村上道子

新年あけましておめでとうございます。

地域の皆様にとって2020年が健やかな年であることを心から願っております。

昨年は近隣の医療機関をはじめ地域の皆様方のご協力をいただき、新病院の落成式を挙げる事ができました。心より感謝申し上げます。

さて、少子高齢化と言われて久しい昨今ですが、当地域でも人口減少の波が押し寄せてきており、少子高齢化の進行が顕著となっています。一方で、地域の中で医療的ケアを必要とされる方は増えてきており、当院が果たすべき役割もより大きくなっていると実感しています。私たちは、どのような健康状態であってもその人らしく暮らすことのできるよう、皆様の思いをしっかりと受け止め、安心・安全な療養と暮らしを支援していくよう、力を尽くし、心を尽くしてまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

着任医師のご紹介



やま さき たけ ゆき
内科 山崎武伍 先生

病は気からと申します。人が生き生きとし、病人の治癒力を高め、不足すれば気分が落ち込む状態となるのは、脳内ホルモンの一種セロトニンの作用によります。日光、特に朝日を浴びることで分泌されます。天下に誇る厚島沖のキリリとした海を帆走ること40数年、得たものが<気>であり、これを日常診療に活かれば本望です。

防犯訓練を実施しました

近年発生している凶悪事件を受け、「110番の日」にちなみ、1月10日に、小串警察署の協力の元、防犯訓練及び防犯カラーボール講習会を実施しました。当日は、医事課職員を中心に20名程度が参加しました。



防犯訓練

犯人役が「金を出せ」と書かれたメモ紙を無言で会計窓口に出すところから始まり、騒ぎにならない様に、

- ① 合言葉で他の職員に知らせる。
- ② 患者などの安全確保に努める。
- ③ 犯人像を記憶して110番通報を行う。
- ④ 犯人に防犯カラーボールを投げて印を付ける。
- ⑤ 逃走車両の車種・車番を記憶する。

といった内容の訓練でした。



結果はというと、犯人役の迫力ある演技に職員は圧倒され、何も出来ず、現金も渡すことも出来ず、人質(患者役)を取られたまま時間が経過し、通報を受けたパトカーが近づいていることに気付いた犯人役が何も取らずに逃走、という始末…。

訓練終了後の講評では、山口県小串警察署 刑事・生活安全課 品川課長から「対応する職員を決め、犯人を落ち着かせながら患者さんの安全、自分の安全に気を付けて頂きたい」「紙やカバン、その他落とし物など、犯人の残した物や触ったところは手掛かりとなるので、警察官に伝えてほしい。」等と講評を頂きました。参加した職員からは、「恐ろしくて犯人の特徴を覚える余裕が無かった」「どう対処したらよいか分からず固まってしまった」等といった感想が聞かれました。

防犯カラーボール講習会

防犯訓練終了後、院外のスペースで防犯カラーボールを投げる講習会を行いました。講習では、塗料の代わりに水が入ったボールを使用。カラーボール使用の目安である10m(人向けを想定)、30m(逃走車両を想定)のところに置いたボール目掛けてカラーボールを投げました。カラーボールを投げるポイントは「人に対しては足元の地面目掛けて投げる(人に直接当ててもカラーボールが破裂しない可能性がある)」「車両等に対してはボディに投げる」とのことで、これを意識して投げましたが、「実際の現場で、動く標的に命中させるのは容易ではない」「久しぶりの投球で肩が痛くなった」等といった感想が聞かれました。



今回の訓練を通して、職員・患者の安全を第一に、常に防犯意識を持つことの重要性を再認識しました。今後も様々な状況を想定した訓練を行い、不測の事態にも冷静に対応できる体制作りを進めていきます。

部署紹介



放射線科

～診断・治療に役立つ画像情報をお届けする部門～

1 どんな部署？

放射線科というより、「レントゲン」の部署と言ったほうが馴染みがあるかと思いますが、放射線科は、各診療科の先生から依頼される検査のうち、X線を使った検査や磁石と電波を利用したMRI検査など、さまざまな画像検査を行っている部署です。

当科で行う画像検査は外見では分からない骨や身体の内部の画像を撮影し、早期診断・早期治療に役立つよう精度の高い検査を行っています。

放射線科で検査する装置

新病院への移転に伴い、大型機器は更新され、最新の装置が導入されました。

主な装置としては

- 一般撮影装置
 - マンモグラフィー装置
 - X線透視装置
 - 骨密度測定装置
 - CT
 - MRI
 - RI(核医学装置)
- などがあります。



2 どんなメンバー？



技師長、主任を各1名配置し、男性6名、女性2名の構成で、24時間救急医療にも対応して業務を行っています。またマンモグラフィー検査では、女性技師が対応し、安心して検査を受けられる環境づくりを行っています。

3 目指すもの

放射線科では、1. 質の高い検査で情報量の多い画像を提供すること。2. 安心して検査が受けられるように、思いやりをもって接すること。3. 被曝低減に努めること。をモットーに日々業務を行っています。

そのためにも1人1人が専門職としての技術・知識の向上に取り組み、より良い検査を提供できるよう、日々の努力を重ねていきます。



当科では様々な撮影機器がありますが、放射線や検査に関し、何か不安・不明な点があればお気軽にお尋ねください。

元気スタッフの WA!

「雑感」

リハビリテーション科
理学療法士 川邊 寛



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

新しい年を迎え皆様は目標や抱負は決められていますか？私は今年こそは溢れかえった本棚を整理整頓することを目標にしています。年末の大掃除の際、その本棚から埃をかぶった本が出てきました。相田みつを氏の『人間だもの』という名言集です。読み返してみるとその一言に励まされ勇気づけられたこと思い出しました。一つ皆様にも紹介したいと思います。

そのときの出逢いが 人生を根底から 変えることがある よき出逢いを

私も今日までたくさんの人に出逢いました。この出逢いによって今の自分がいるのだと思うと、感謝の思いでいっぱいになります。

私のよき出逢いは、中学3年生の時に理学療法士に出逢ったことです。その冬、膝関節炎になり入院し、膝の手術をしました。術後、リハビリを受けました。私のことを一番に考え、治してくれる姿に感動しま



した。将来の夢は、理学療法士になると決めました。この出逢いがきっかけで、今までの多くの出逢いに通じています。

患者様にもご協力いただき、「出逢い」について聞いてみました。

Aさん(10代女性) 「担任の先生に出逢った。先生と話をしている時が楽しいよ。」

Bさん(40代女性) 「人と人が逢うこと。その出逢いを生かしていくのは自分次第。」

Cさん(50代男性) 「巡り合わせ。」

Dさん(70代男性) 「今こうしている事、語り合う事。」

皆様、人との出逢いを大切にしていると感じました。

さて、まだまだ本棚には素敵な本が眠っているようです。今年こそ整理整頓!!

今年も、よき出逢いがありますように…。

教室案内

興味のある方は
お気軽にお問い合わせ下さい。
TEL：083-774-0511 (代)

■糖尿病教室 (あなたの食事は大丈夫??)
2月25日(火) 13:00 ~ 14:30

■安産教室
毎月第4木曜日 13:00 ~
(奇数月:20週前後の方、偶数月:32週前後の方)

医師や助産師、看護師、栄養士が分かりやすく病気や予防についてお話させていただきます。どうぞお気軽にご参加下さい。

患者様の権利

当院では患者様の個性・人格を尊重し、病院の理念に基づいて良質な医療を提供し、患者様の権利を保障します。

- 一、ご自身にあった最良の医療を受けることができます。
- 一、病気・検査・治療については気兼ねなく、納得のいくまで説明を受けることができます。又、主治医とは別の医師の意見を聞くことができます。
- 一、十分な説明を求め、ご自身の治療法などをご自身で決めることができます。
- 一、個人情報の秘密は守られます。
- 一、ご自身の診療録(カルテ)の開示を求めることができます。

基本方針

- 一、患者様と一緒に考え、一緒に病と闘う、心のこもった納得のいく医療を心がけます。
- 一、明るい職場から生まれる、温かく思いやりに満ちた心で患者様に接します。
- 一、常に知識・技術向上のための研鑽を積み、質の高い医療を提供します。
- 一、地域社会のニーズに応え、住民の心身の健康増進に努めます。
- 一、健全な運営と療養環境の充実を図り、地域社会から信頼される病院を目指します。



医療連携登録医のご紹介



二武整形・リウマチクリニック

【住 所】〒759-6311 下関市豊浦町大字吉永1844番地

【電 話】083-772-0835

【院 長】二武 皇夫

【診 療 科】整形外科／リウマチ科／リハビリテーション科



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 9:00～12:30	●	●	●	●	●	●	—
午後の部 14:30～18:00	●	●	●	—	●	—	—



【休 診 日】木曜・土曜(午後)、日曜、祝日



整形外科は膝、腰の痛み、肩こり、手のしびれなど身近な症状に答える診療科です。治療は薬だけでなく、痛みをやわらげるブロック注射や理学療法士が患者さんごと個別に行うリハビリを行っています。リウマチも最新の治療薬を使い一人でも多くの方につらい症状から解放されるよう治療にあたっています。また、寝たきりや入院の原因になる骨折を予防するため骨粗鬆症の診断、治療に積極的に取り組んでいます。豊浦病院から退院されて、自宅での生活が不安な方は介護保険での通所リハビリを併設しておりますので気軽にご相談ください。

「地域医療連携登録医」の一覧

★印が今回のご紹介の登録医

	医療機関名	電話番号
豊浦町	しんむら医院	083-774-3535
	永山医院	083-774-3567
	藤本医院	083-772-3333
	ふじかわクリニック	083-774-2224
	★二武整形・リウマチクリニック	083-772-0835
	はまさきクリニック	083-775-1192
	じょうのクリニック	083-776-5151
	重本内科	083-774-4353
	重本病院	083-772-0014
	きぬがわ眼科	083-227-3445
豊北町	藤井クリニック	083-782-0566
	たきべ診療所	083-782-0032
	和田医院	083-788-0001
	下関市立角島診療所	083-786-0735
	木本クリニック	083-786-2626
	豊北病院	083-785-0222

	医療機関名	電話番号
菊川町	青柳内科医院	083-287-0563
	あめやまクリニック	083-288-1000
	江本外科胃腸科医院	083-287-1222
	なごみクリニック	083-288-0307
豊田町	小田医院	083-766-0109
	千葉クリニック	083-766-0501
川中豊町	川田じゅんこクリニック	083-254-3520



山口県済生会豊浦病院 外来診療案内

令和2年2月1日現在

診療科	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	備考
内科	高橋 徹郎	弘津 喜史	高橋 徹郎	弘津 喜史	弘津 喜史	
	橋本 興 (療養内科)	川田 泰伸	橋本 興 (療養内科)	高橋 徹郎	川田 泰伸	
	長澤 俊明 (療養内科)		長澤 俊明 (療養内科)	長澤 俊明 (療養内科)		
	千原 龍夫 (健診ドック)	千原 龍夫 (健診ドック)	千原 龍夫 (健診ドック)		千原 龍夫 (健診ドック)	
		山崎 武伍		山崎 武伍		予約のみ
(専門外来)				佐々木 貴宏 (血液・内分泌内科)		
神経内科				清水 文崇		
心療内科			中田 信浩		野村 道次	
小児科	中司 謙二	太田 陽香	中司 謙二	太田 陽香	太田 陽香	
(専門外来)	小児神経 星出 まどか (第1・第3) 13:00~予約制	乳幼児健診 13:45~15:00	慢性疾患・ アレルギー 14:30~16:30		小児腎臓 橋高 節明 (第4) 14:00~予約制	
	予防接種 14:00~15:00	予防接種 14:00~15:00	予防接種 15:00~16:00			
外科	午前	荒木 厚博	荒木 厚博	荒木 厚博	荒木 厚博	
	午後	手術日	手術日		手術日	
整形外科	午前	橋口 彰	橋口 彰 ~11:00	小林 弘明	橋口 彰	岩永 隆太
	午後	手術日		手術日	手術日	手術日
脳神経外科	長次 良雄	長次 良雄	長次 良雄	長次良雄(第2)	長次 良雄	
皮膚科	午前		沖田 朋子	八木 献 (形成外科領域)		
泌尿器科	上領 頼啓	小松 宏卓	上領 頼啓	安井 平造	小松 宏卓	
産婦人科	午前	岡田 理	岡田 理	田中 結美子	杉野 法広 岡田 理	岡田 理
	午後	岡田 理	産後検診	手術日	岡田 理	岡田 理
リハビリテーション科				長次 良雄 11:00~(第2)	橋口 彰 9:00~	
耳鼻いんこう科	午前	山本 陽平			廣瀬 敬信	完全 予約制
眼科	午後	石村 良嗣		布 佳久		完全 予約制

※休診等で診療をお受けできない場合もございますので、ご了承下さい。

〈受付時間〉 月曜日～金曜日 8時30分～11時30分 再診は終日予約制(小児科を除く)

〈診療時間〉 8時30分～17時00分

予約の変更は月～金曜日11時～13時に各科外来までご連絡下さい ☎ 083-774-0511

健康出前講座募集

講座開催日

原則、月～金曜日の午後～夕方の概ね1時間
※特別の希望日時がある場合は御相談ください

開催会場

会場は、申込者の方で手配をお願いします
(会場は下関市内に限らせて頂きます)

参加人数

参加人数は10名以上からお願いします

申込方法

希望日の2ヶ月前までに地域医療支援(PFM)センターに御連絡下さい
※学校関係で行っている性教育関連の講座も地域医療支援(PFM)センターでお受けしています

講座申し込み・お問い合わせ先

◆地域医療支援(PFM)センター
地域病診連携担当
TEL: 083-774-0511代
FAX: 083-775-4149
その他、不明な点がありましたら
御連絡下さい